

教育機関で、危険物が起因する火災を防ぐ ～星薬科大学で消防演習を実施～

6月19日（金）、危険物安全週間に伴い、星薬科大学において、自衛消防訓練に合わせて消防演習を実施しました。

「実験室で危険物が出火」という想定で、大学職員は119番通報、初期消火、避難誘導を行い、消防隊は消火活動、逃げ遅れた人の救助活動を行いました。大学職員からは、「改めて危険物を取扱っているという認識を強く持ち、事故防止に努めます」との声がありました。危険物の保安に対する意識の高揚が図られた有意義な演習となりました。



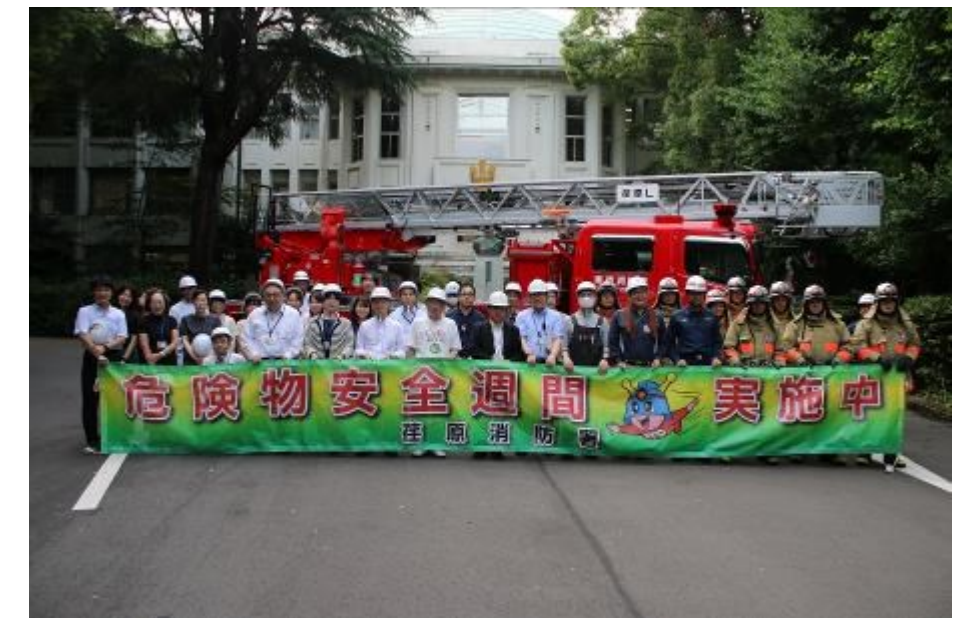
本館の前で行われた一斉放水



大学職員による初期消火



はしご車による逃げ遅れの救出



参加者で集合写真